

第2学年 社会科（地理的分野）学習指導案

日 時 令和 2年 9月28日（月）公開授業2
学 級 遠野市立遠野中学校 2年2組 34名
指導者 教諭 菊池 傑

1 単元名 中国・四国地方 ー都市と農村の変化と人々の暮らしー
(東京書籍「新編 新しい社会 地理」)

2 内容のまとめり [地理的分野] (2) 日本の様々な地域 ウ 日本の諸地域

3 単元の目標

(1) 中国・四国地方の地理的特色について概観する中で、特に交通網の整備と都市と農村の変化に関心を持ち、設定した学習テーマを基に意欲的に追究することができる。また、地域がかかえる問題について、身近な地域などの事象も含めて、広く関心を持つことができる。

【社会的事象についての関心・意欲・態度】

(2) 学習テーマを追究する過程で、中国・四国地方の地域的特色や課題、都市と農村の変化について、人々の生活や産業などと関連づけて多面的・多角的に考察することができる。

【社会的な思考・判断・表現】

(3) 中国・四国地方の地域的特色に関する各種の地図や統計・写真などの資料を活用し、資料から有用な情報を適切に選択し、それを基に読み取ったり図表にまとめることができる。

【資料活用の技能】

(4) 中国・四国地方について、自然環境や人口、産業などの特色を理解し、過疎・過密地域のかかえる現状を具体的にとらえ、その解決が課題になっていることを理解できる。

【社会的事象についての知識・理解】

4 単元について

(1) 生徒について

ア 学習テーマを設定し、追究する学習としては、1年次の「世界の諸地域」を通して行ってきた。「日本の諸地域」としては二つめの単元である。

イ 諸地域の自然環境、産業、生活、文化はそれぞれ理解している。ただし、それぞれを関連づけ、自分の頭で「成り立ち」を考えたり、まとめたりできるまでに至っていない面もある。

ウ 既習内容を生かしながら日本の諸地域の地域的特色をとらえ、広い視野から日本全体の地域的特色に迫り、ペア学習も取り入れながら思考・判断・表現を伴う学習を進め、各観点での力を育みたい。

(2) 教材について

ア 第3章「日本の諸地域」は、『中学校学習指導要領解説社会編』地理的分野の(2)「日本の様々な地域」にあたり、「日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域的特色ある地理的事象や事柄を他の事象と有機的に関連付けて追究する活動を通して、日本の諸地域の地域的特色をとらえさせる」ことを主なねらいとしている。

イ 本章の各節は、日本の7地方を取り上げ、各地方の事象間の関連を考察することで特色をつかませる。本節は、生活の舞台である自然環境と人口や産業の特色を概観する学習、中核となる視点である「人口や都市・村落を中核とした考察」に沿って追究する学習、そして振り返りの学習の3部構成となっており、中国・四国地方の生活の舞台を大観し、課題解決を図りながら学習テーマを追究し、身近な事象にもふれながらまとめていきたい。

(3) 指導について

- ア 本節の学習テーマは「都市と農村の変化と人々の暮らし」であり、「中国・四国地方の地域的特色について都市と農村の変化を人々の生活や産業などに関連づけて考察させること」並びに「過疎・過密地域のかかえる問題を具体的にとらえ、その解決が課題になっていることをとらえさせること」を主なねらいとしている。
- イ 中国・四国地方の自然や人々の暮らし、都市と農村の変化を大観しながら、人口の偏りに気付き、その理由や対策をとらえながら地域的特色を考えさせたい。
- ウ ペア学習を随所に取り入れることで、思考・判断・表現をする場面を設定し、学びを深めていきたい。自分たちの生活する地域との関連性や比較を通して、現代日本がかかえる課題に気付き、対策を考える機会としたい。

5. 遠野中学校の研究との関わり

【研究主題】 「主体的に学ぶ生徒の育成」

～自らの考えをもち、関わり合う授業を通して～

視点1 「課題意識の持続」

- ①学習課題の吟味、発問の工夫を図る。授業の中で既習内容項を適宜入れながら、社会科全般の関連性・系統性を理解させる。
- ②自分たちが生活する地域の実情と関連づけて考えることができるよう、身近な資料も提示する。

視点2 「達成状況の把握」

- ①振り返りシートの使用、記入と発表により達成状況を把握。机間巡視。

視点3 「関わり合う場面の設定」

- ①思考を伴う場面で既習事項を活用させる。身近な地域に置き換えることで思考を深める。級友の発言をよく聞き、考え自らの学習に生かす。
- ②ペア学習を取り入れ、思考・判断・表現する場を設ける。級友の発言をよく聞き、考え、自らの学習に生かす。

6 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活動の技能	社会的事象への 知識・理解
①自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、特に交通網の整備と都市と農村の変化に関心を持ち、特色を意欲的に追究している。 ②過疎・過密地域のかかえる問題について、身近な地域などの事象も含めて、関心を持っている。	①地域的特色を人口や都市・村落を中核とした考察を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に説明できる。 ②都市と農村の変化を自然環境や人々の生活、産業などに関連付けて考察できる。	①地域的特色に関する各種の地図や統計・写真などの資料を活用している。 ②資料から中国・四国地方の地域的特色について有用な情報を適切に選択し、それを基に特色や状況を読み取ることができる。	①自然環境や人口、産業などの特色を大まかにとらえている。 ②人口や都市・村落を中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

7 指導と評価の計画 (6時間 ※本時は5時間)

時間	ねらい・学習活動	重点「評価規準」	評価方法
1	中国・四国地方の生活の舞台 『中国・四国地方の自然環境・気候・産業にはどのような特色があるか』 ・山陰、瀬戸内、南四国の三つの地域の自然の特色を地図や雨温図から読み取る。	技能① 知識・理解①	白地図 発言 振り返りシート
2	中国・四国地方の人々の営み 『中国・四国における人口と産業はどのように分布しているか』 ・中国・四国地方では人口が瀬戸内地方に集中していることと各地の農業や漁業を自然環境と関連付けて理解する。 ・工業地域の立地、石油化学工業の成り立ち、工業生産の変化について調べる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">都市と農村の変化によって生じた問題に、人々はどう向き合ってきたか</div>	思考・判断・表現① 技能①	発言 振り返りシート
3	都市の役割とその課題 『広島市はどのような歴史的背景をもつか。また、役割は何か』 ・平和記念都市や地方中枢都市としての広島市の特色と役割をとらえる。 ・広島市などの過密問題を身近な地域と比較するなどして関心を持つ。	関心・意欲・態度① 技能②	作業・発言 振り返りシート
4	高齢化が進む農村と町おこし 『過疎地域の現状はどうなっているか。その課題と展望は何か』 ・過疎地域の分布ととその高齢化の現状について、人口の変化や人口ピラミッドの資料から読み取り、説明ができる。 ・過疎対策について、地域の自然環境や人々の生活、産業などと関連付けながら、身近な地域とも比較しながら考える。	関心・意欲・態度② 思考・判断・表現②	作業・発言 振り返りシート
5 (本時)	交通網の発展による地域の変化 『都市と農村はどう結び付き、地域に影響を与えてきたか』 ・過密と過疎の問題など、地域内の差異をふまえて中国・四国地方の地域的特色をとらえる。 ・交通網の発展による地域の変化について地域にとっての利点と問題点の両面から考える。	思考・判断・表現② 知識・理解②	発言 振り返りシート
6	中国・四国地方の学習を振り返ろう 『人々は都市と農村の変化によって生じた問題にどう向き合ってきたか』 ・振り返りシートにこれまでの学習をまとめ、整理する。 ・重要用語の確認	知識・理解②	振り返りシート

8 本時の指導

(1) 目標

- 中国・四国地方の地域的特色と課題をとらえ、交通網の発展は地域にどのような影響をおよぼしたか、利点と問題点を考える。【社会的事象への思考・判断・表現】

(2) 展開

段階	学 習 内 容	生 徒 の 活 動	留意点等 ●評価
導 入 10 分	<p>1 既習事項を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過密化、過疎化についての復習 <p>2 学習課題の設定</p> <p>○中国・四国地方の現状把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決にふさわしい都市と農村の関係 	<p>○問いへの想起・反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つの現象について説明し、地域（都市と農村）を確認する <p>○問いへの想起・反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足りないところを補い合う関係、課題を解決し合う関係 など ・相互の行き来、交通の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県と四国地方、中国地方の地図を用意する <p>視点1</p> <p>「課題意識の持続」</p> <p>既習事項の活用、身近な資料の提示</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">都市と農村はどう結び付き、地域に影響を与えてきたか考えよう</div>			
展 開 30 分	<p>3 予想</p> <ul style="list-style-type: none"> ①北四国—山陽地方 ②山陰—山陽 ③南四国—北四国 <p>4 (中国・四国)地方の中のつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本四連絡橋と高速道路による結び付き。場所の確認 ・岡山県・香川県の通勤者・通学者の変化 ・浜田市と北広島町の通勤時間の変化 <p>5 地方をこえたつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近畿地方とのつながり <p>6 交通網の整備にともなう影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間距離の短縮 ・利点と問題点 <p>7 身近な地域に置き換えて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む地域での都市と農村の結び付き ・地域への影響 	<p>○予想に対する考えをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通で結びついている ・地形に注目しながらそれぞれの①～③それぞれのコースで予想する <p>○問いへの想起・反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡橋、高速道路による交通整備 ・どこの都市とどこの都市が結ばれたのかを調べる(ペア学習) ・資料から読み取る ・資料から読み取る <p>○問いへの想起・反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸—鳴門ルートを探し(ペア学習)、近畿地方と結びついていることに気づく <p>○影響について利点と問題点について考え、ペアで交流し、発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域間の交流の機会の増加、観光客の増加、企業の移転、ストロー現象、連絡船の廃止、さらなる過疎化など <p>○岩手県(東北地方)でいえばどのような例があるのか。グループで考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域での人口の多い都市の分布は、第2時で学習 ・地図帳 ・本四連絡橋の始点となる4つの都市がある県にも注目させたい <p>視点3 C</p> <p>「教材・資料との関わり合い」</p> <p>資料の読み取り</p> <p>視点3 B</p> <p>「他者との関わり合い」</p> <p>自分の考えをもち、ペアで交流する</p> <p>●利点と問題点について考えている(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭の地図を提示する。移転した企業も紹介したい ●協力しながら考え、身近な事例を説明できる(思考・判断・表現)
終 末 10 分	<p>8 本時のまとめと振り返りシートの記入</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>都市と農村は交通網の整備によって結ばれてきた。その結果、時間距離が短縮され、人々の行き来や工場の移転が増えた反面、ストロー現象などの新たな問題も生まれた</p> </div> <p>9 次時の見通しをもつ</p>	<p>○学習課題に対するまとめを書き、振り返りをする</p>	<p>●自分の考えをまとめている(知識・理解)</p> <p>視点2</p> <p>「達成状況の把握」</p> <p>まとめと振り返りシートへの記述</p>